

溶連菌性咽頭炎



溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、発熱が起こります。舌がイチゴのようになったり、体や手足にかゆみのある発疹が出たり、お腹が痛くなったり、吐いたりすることもあります。

家庭で気をつけること

うつる 家族に同じような症状があれば（潜伏期は2～5日）、受診してください。

食事 口の中が痛いので、食欲がないのはしかたありません。熱いもの、すっぱいもの、塩辛いもの、かたいものなどを避け、冷たくてのどごしのよいものを食べさせてください。

入浴 高熱がなく元気であれば、入ってもOKです。



幼稚園・保育所・学校
抗菌薬を飲みはじめてから
24時間以上たって、
熱が下がっていれば、
登園・登校できます。



もう一度診察してね

- + 2日以上たっても熱が下がらないとき
- + のどの痛みが強く、水分をあまりとらず、ぐったりしているとき
- + 1～4週間後に、元気がない、おしっこが少ない、顔（目の周り）がむくんでいる、血尿がある（おしっこが赤い）などの症状が出てきたとき



神戸百年記念病院 附属

すこやかクリニック

文献：医歯薬出版株式会社

「ママ&パパにつたえたい

子どもの病気ホームケアガイド」より